

第9回 政策情報学フォーラム テーマ:「政策教育と価値の創出」

公共政策学等の教育において提供される(べき)情報とは如何なるものでしょうか?
公共政策学等の教育を通じて生み出される(べき)情報とは如何なるものでしょうか?

開催日時: 2014年7月5日(土) 14:00~16:50

開催会場: 立命館東京キャンパス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー8階3号、4号教室

3階までエスカレーターで上がり、3階受付で入館手続きをしたのちエレベーターで8階までおあがりください。

交通アクセス <http://www.ritsumei.ac.jp/tokyocampus/access/>

テーマのねらい: テーマ:「政策教育と価値の創出」

近年、多くの大学・大学院で「政策」という名を含む学部(学科)・研究科が創設されています。それらの学部(学科)・研究科では、政策に関わる学問(公共政策学等)の教育が行われています。一般に教育においては、何らかの情報(知識等)が提供され、そこから新たな情報(知識等)が学生や教員等のなかで生まれてくることが期待されています。では、公共政策学等の教育において提供される(べき)情報とは如何なるものでしょうか?そして、公共政策学等の教育を通じて生み出される(べき)情報とは如何なるものでしょうか?これらの問いに取り組むことは、より良き政策の実現や民主化の実現に大きく寄与すると同時に、政策に関する情報を産出する活動の一つである政策研究のあり方を模索するうえでも重要であると考えられます。そこで、今回のフォーラムでは、公共政策学等の学問的アイデンティティを探求し、公共政策学等の教育に学術的にも実践的にも関わってこられた足立幸男先生に基調講演を行っていただき、こうした問題について深く考えていきたいと考えております。

プログラム: 14:00-14:20 歓迎挨拶・フォーラム趣旨説明
政策情報学会会長 中道壽一

14:20-15:20 ご講演
足立幸男(京都大学名誉教授, 京都産業大学客員(専任)教授, 元・日本公共政策学会会長)

15:20-15:30 休憩

15:30-16:30 討論

16:30-16:45 まとめ

16:45-16:50 閉会の辞

17:00-18:30 懇親会(サピアタワー内「パピラノ」)

※参加ご希望の方は、申込時に「懇親会出席」と明記してください

ご講演概要: わが国では、知的・実践的営為としての政策分析は、残念ながら、いまだ一つのプロフェッションとして確立されてはいない。その活用もごく限られたレベルに留まっており、政策過程への合理的思考の導入及びそのことを通じての「民主主義の近視眼」(myopia of democracy)の監視・矯正という本来のミッションをほとんど果たし得ていない。政策分析の成熟と普及・活用を妨げ遅らせてきた主要な要因が政府セクター、市場セクター、市民セクターのいずれにおいてもプロフェッションとしての政策分析に対する理解が決定的に欠如していること—各セクターが公共問題にかかる基本的なスタンスを選択・決定するに際して政策分析者にアドバイスを求める必要があるとの認識をほとんどもっていないこと、内閣や議会においてさえそうであるということ—にあるとしても、政策分析者と政策教育者もまたその責任の一端を免れることはできない。政策の決定や実施・評価に対してフォーマルな権限と責任を有するアクターや、政策アドボカシーに熱心な団体のリーダーたちをして、

